

# ビケンワクチンニュース

【2008年8月号】

## 平成20年度インフルエンザHAワクチン製造株 決定

2008年6月17日に、本年度のインフルエンザHAワクチン製造株が厚生労働省より発表されました。

出典：薬食発第0617006号  
「平成20年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について(通知)」

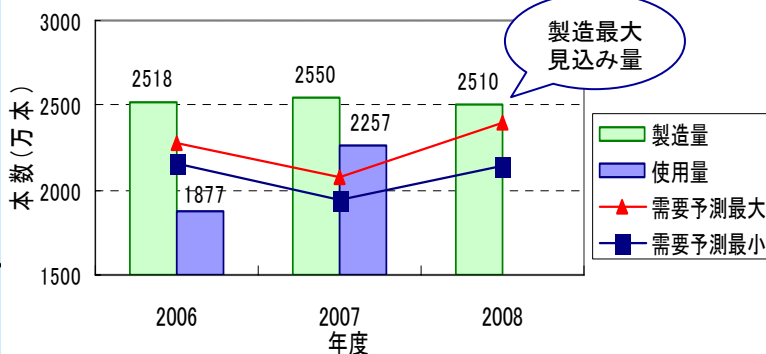
【A型株】	A/ブリスベン/59/2007(H1N1)
	A/ウルグアイ/716/2007(H3N2)
【B型株】	B/フロリダ/4/2006

厚生労働省は6月18日に「第12回インフルエンザワクチン需要検討会」を開催し、2008/2009シーズンにおけるワクチンの需要が2145万本から2400万本程度であると予測しました。本年度のワクチン製造メーカーの製造量は最大で2510万本程度となる見込みであり、十分な製造・供給量が確保されています。

なお、インフルエンザワクチンはウイルスを鶏卵で増殖させて製造することから、ウイルスの増殖力、気温、鶏卵の質等に大きく影響を受けるため、原則、需要予測の最大量を満たすよう製造されますが、この製造量はあくまでも現時点での目安です。

出典：第12回インフルエンザワクチン需要検討会資料

インフルエンザワクチン需要予測、製造量、使用量の推移



## 麻しん・風しんワクチン予防接種情報

### 2007年度第2期麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

WHO西太平洋地域事務局(WPRO)は、日本を含む西太平洋地域において、2012年までに麻しんを排除する目標を掲げています。この目標を達成するには第1期(1歳児)及び第2期(5歳以上7歳未満で小学校就学前1年間にあたる児)定期接種において、それぞれ95%以上の接種率が必要とされています。今回、国立感染症研究所より、2007年度第2期麻しん風しんワクチン接種全国集計結果の最終評価が発表されましたので、この結果について紹介します。

順位	都道府県	麻しんワクチン 接種率(%) (第2期)	風しんワクチン 接種率(%) (第2期)
1	秋田県	95.8	96.1
2	新潟県	94.7	94.7
3	福井県	94.4	94.5
	全国平均	87.9	88.2

調査によると、秋田県が目標の接種率95%を達成し、全国1位となりました。秋田県では、広報やホームページによる周知、個別通知に加え、各市町村による未接種者の把握とその後の個別のはがきや電話による接種勧奨等のきめ細かな対応を実施しており、これが接種率の向上につながったと考えられます。このように未接種者の特定、医療機関と行政が連携した根強い呼びかけが予防接種率の向上に繋がると考えられます。

出典：平成19年度定期の予防接種(麻しん風しん第2期)の実施状況の調査結果について(2008年3月31日現在最終評価)  
国立感染症研究所 感染症情報センターIASR速報記事

### 第3期・第4期定期接種が始まっています！

近年、10代・20代の若年層を中心に麻しんが流行し、学校が休校するなど、社会的混乱が生じています。これを受け、平成20年4月から5年間の期限付きで、麻しん風しんワクチンの定期接種が第3期(中学1年生相当年齢)、第4期(高校3年生相当年齢)に拡大されました。原則、医療機関での個別接種となっています。ただし、予防接種の実施に適した施設において集団を対象にして行う集団接種によることも差し支えありません。

#### 2008年度 第3・4期接種対象者

【第3期】 対象：平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ  
接種期間：平成20年4月1日より平成21年3月31日まで

【第4期】 対象：平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ  
接種期間：平成20年4月1日より平成21年3月31日まで

企画編集 : 財団法人阪大微生物病研究会 (<http://www.biken.or.jp>)  
8月号担当 : 藤田、福田、井下、久我、橋本、今井、岸野  
発行 : 財団法人阪大微生物病研究会/田辺三菱製薬株式会社

▲上記本文中のホームページの内容に関するお問い合わせは、お受けしていません。

